

■ 各グループの発表に対するコメント

国際学部 倪 永茂
センター研究員 重田 康博

グループ A は、留学生 5 名がいて、11 月 5 日午前には日光田母沢御用邸記念公園、午後には日光東照宮というコースを回った。日光東照宮での観光客に対するインタビューに時間がかかりすぎ、予定していた神橋の見学ができなかった。短時間に 37 人にもインタビューできたことは留学生の行動力の高さを示すもので、評価に値する。観光客の日光で感じた課題として、交通渋滞（紅葉季節）、クレジットカード利用の不便、案内等に使われる外国言語の種類が少ないことが指摘された。案内等に QR コードをより活用することで、多言語につながる発想はユニークである。

また、ほかのグループに共通した問題点として、今回のテーマである日光の文化的価値を掘り起こすという内容に関する指摘が少なかったことを感じた。（倪）

グループ B は、2023 年 11 月 5 日金谷ホテル歴史館、日光山輪王寺、大猷院のコースを回った。メンバーの留学生は 5 名であった。発表は、ルートの紹介、感想発表、アドバイス、他国での文化遺産保護、の順で行われた。

発表の中で、各自のいろいろな感想と写真があって良かった。B グループによるアドバイスとしては、道が混んでいるので環境整備などの課題が挙った。

グループ B へのコメントとして、本プロジェクトのテーマである「日光の文化的価値を活かした観光地づくり」との関連で、アドバイスで他国での文化遺産保護を挙げていたが、文化遺産保護についてももう少し具体的意見があると良かった。

グループ C は、2023 年 11 月 5 日田母沢御用邸記念公園、日光真光教会、青龍神社、日光二荒山神社のコースを回った。メンバーの留学生は 6 名であった。発表は、背景、目的、内容/問題、提案、まとめ、の順番で行われた。グループ C が挙げた主な問題は、①交通渋滞、②夜の食事の場所が関連して少ないこと、③お年寄りにとってアクセスしにくい場所であること、を挙げた。解決のための提案としては、①交通渋滞の問題を解決する必要がある、②夜の食事ができるようにお店の時間を長くすること、③お年寄りのためのアクセスの改善、④その他として、SNS を使って日光の宣伝を更に行うこと、という意見があった。

グループ C へのコメントとして、挙げられた主な問題と提案は、日光の観光開発にとってどれも必要なことであるが、その反面、本プロジェクトのテーマである「日光の文化的価値を活かした観光地づくり」という点に関して、文化に関する問題とその対応についても挙げて欲しかった。（重田）